

2013年度事業報告

I 会員の異動状況

(2014年3月31日現在)

1. 会員の異動	前年度末	入会・就任	退会 (会費滞納による退会を含む)	物故者	現在数
(1) 正会員	25,401名	1,122名	613名	26名	25,884名
(2) 名誉会員	35名	5名	0名	1名	39名
(3) 特別会員	48名	1名	0名	2名	47名
(4) 国際名誉会員	26名	3名	0名	0名	29名
(5) 賛助会員(法人)	78名	0名	5名	—	72名

2. 役員・職員の異動	前年度末	就任	退任	物故者	現在数
(1) 理事	30名	0名	0名	0名	30名
(2) 監事	2名	0名	0名	0名	2名
(3) 幹事	20名	2名	1名	0名	21名
(4) 社員	281名	0名	1名	0名	280名
(5) 事務局職員	17名	5名	5名	0名	17名

3. 国際名誉会員

Jong-Hoa Bae (Korea)	A. John Camm (UK)	Jay N. Cohn (USA)
Anthony N. DeMaria (USA)	Kim Fox (UK)	Valentin Fuster (USA)
Tsui-Lieh Hsu (Taiwan)	David T Kelly (Australia)	Sam-Soo Kim (Korea)
Spencer B. King, III (USA)	Peter Libby (USA)	Thomas F. Luscher (Switzerland)
William John McKenna (UK)	Steven E. Nissen (USA)	Ock-Kyu Park (KOREA)
John Ross Jr (USA)	Patrick W. Serruys (Netherlands)	Shahryar A Sheikh (Pakistan)
Sidney C. Smith, Jr (USA)	Karl Swedberg (Sweden)	A.Jamil Tajik (USA)
James T Willerson III (USA)	Anversa Piero (USA)	Braunwald Eugene (USA)
Waagstein Finn (Sweden)	Seung-Jung Park (Korea)	Victor J.Dzau (USA)
Pravin M. Shah (USA)	Salim Yusuf (USA)	

4. 物故会員(敬称略)

(1) 名誉会員	戸嶋 裕徳						
(2) 特別会員	細野 清士	宮下 英夫					
(3) 一般会員	石山 実樹	石渡 隆寛	井上 博之	江口 勝也	江渡 史彦		
	岡本 光弘	上松瀬 悠	河口 剛	菊嶋 修示	黒澤 斌		
	小林 忠章	坂本 良治	佐藤 成	鈴木 康稔	伊達 敏明		
	田苗 英次	玉田 拓也	千田 昭宏	野澤 篤史	馬場 清		
	松井 忍	松本 雅彦	南地 克美	宮坂 千晶	八木 安生		
	山口博一郎						

II 会議の事項

(1) 第77回社員総会	: 2013年4月26日	東京都	・東京国際フォーラム
(2) 理事会	: 2013年6月14日	東京都	・東京ステーションコンファレンス
	2013年10月4日	東京都	・東京国際フォーラム
	2014年1月17日	東京都	・東京国際フォーラム
	2014年3月20日	東京都	・東京国際フォーラム
(3) 役員等選出委員会	: 2014年3月21日	東京都	・東京国際フォーラム
(4) 総務委員会	: 2013年6月14日	東京都	・東京ステーションコンファレンス
	2013年10月4日	東京都	・東京国際フォーラム
	2014年1月17日	東京都	・東京国際フォーラム
	2014年3月20日	東京都	・東京国際フォーラム

(5) 財務委員会・監査会	: 2013年6月4日 2013年9月24日 2014年1月7日 2014年3月11日	東京都 東京都 東京都 東京都	・(一社)日本循環器学会事務局 ・(一社)日本循環器学会事務局 ・(一社)日本循環器学会事務局 ・(一社)日本循環器学会事務局
(6) 予算委員会	: 2013年12月20日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(7) 編集委員会	: 2013年6月14日 2013年10月4日 2014年1月17日 2014年3月20日	東京都 東京都 東京都 東京都	・東京ステーションコンファレンス ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
(8) 学術委員会	: 2013年6月14日 2013年10月4日 2014年1月17日 2014年3月20日	東京都 東京都 東京都 東京都	・東京ステーションコンファレンス ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
・成人先天性心疾患部会	: 2013年10月3日 2014年1月16日 2014年3月19日	東京都 東京都 東京都	・(一社)日本循環器学会事務局 ・(一社)日本循環器学会事務局 ・(一社)日本循環器学会事務局
(9) 専門医制度委員会	: 2013年6月14日 2013年10月4日 2014年1月17日 2014年3月20日	東京都 東京都 東京都 東京都	・東京ステーションコンファレンス ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
・専門医編集委員会	: 2013年6月14日 2013年10月4日	東京都 東京都	・東京ステーションコンファレンス ・東京国際フォーラム
・専門医実務委員会	: 2013年4月13日 2013年7月7日 2013年12月8日	東京都 東京都 東京都	・(一社)日本循環器学会事務局 ・(一社)日本循環器学会事務局 ・(一社)日本循環器学会事務局
・認定試験委員会(専門医試験合否判定)	: 2013年9月21日	熊本県	・びぶれす熊日会館
・新専門医制度検討・構築委員会	: 2014年2月24日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(10) 教育研修委員会	: 2013年6月14日 2013年10月4日 2014年1月17日 2014年3月20日	東京都 東京都 東京都 東京都	・東京ステーションコンファレンス ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
(11) 禁煙推進委員会	: 2013年6月14日 2013年10月4日 2014年1月17日 2014年3月20日	東京都 東京都 東京都 東京都	・東京ステーションコンファレンス ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
(12) 健保対策委員会	: 2013年6月14日 2013年9月22日 2014年1月17日 2014年3月20日	東京都 熊本県 東京都 東京都	・東京ステーションコンファレンス ・びぶれす熊日会館 ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
(13) 心臓移植委員会	: 2013年6月14日 2013年10月4日 2014年1月17日 2014年3月20日	東京都 東京都 東京都 東京都	・東京ステーションコンファレンス ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
・適応検討小委員会	: 2013年10月31日	大阪府	・国立循環器病研究センター
(14) 医療倫理委員会	: 2013年6月14日 2013年10月4日 2013年11月29日 2014年1月17日 2014年3月20日 2014年3月20日	東京都 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都	・東京ステーションコンファレンス ・東京国際フォーラム ・(一社)日本循環器学会事務局※ ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム※ ・東京国際フォーラム
(15) 情報広報委員会	: 2013年6月14日 2013年10月4日 2014年1月30日	東京都 東京都 東京都	・東京ステーションコンファレンス ・東京国際フォーラム ・(一社)日本循環器学会事務局

	・学術集会時の動画配信に伴う検討会	2013年 6月14日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(16)	国際交流委員会	: 2013年 6月14日 2013年10月 4日 2014年 1月17日 2014年 3月20日	東京都 東京都 東京都 東京都	・東京ステーションコンファレンス ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
(17)	学術集会運営委員会	: 2013年 6月14日 2013年10月 4日 2014年 1月17日 2014年 3月20日	東京都 東京都 東京都 東京都	・東京ステーションコンファレンス ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
(18)	学術集会プログラム委員会	: 2013年 9月22日 2013年12月 1日	東京都 熊本県	・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム ・びぶれす熊日会館
(19)	用語委員会	: 2013年 6月14日 2014年 3月20日	東京都 東京都	・東京国際フォーラム ・東京ステーションコンファレンス ・東京国際フォーラム
(20)	チーム医療委員会	: 2013年 6月14日 2013年 1月17日 2014年 3月20日	東京都 東京都 東京都	・東京ステーションコンファレンス ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
	・プログラム部会	: 2013年 5月10日 2013年11月14日	東京都 東京都	・(一社)日本循環器学会事務局 ・(一社)日本循環器学会事務局
(21)	循環器救急医療委員会	: 2013年 6月14日 2013年10月 4日 2014年 1月17日 2014年 3月20日	東京都 東京都 東京都 東京都	・東京ステーションコンファレンス ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
	・蘇生教育小委員会	: 2014年 2月 6日 2014年 3月20日	東京都 東京都	・(一社)日本循環器学会事務局 ・東京国際フォーラム
	・蘇生科学小委員会	: 2013年 9月20日 2014年 3月20日	東京都 熊本県	・東京国際フォーラム ・熊本和数奇 司館
	・AED検討委員会	: (開催無し)	東京都	・東京国際フォーラム
	・循環器救急医療制度小委員会	: (開催無し)		
(22)	利益相反委員会	: 2014年 3月20日	東京都	・東京国際フォーラム
(23)	医道委員会	: 2013年 6月14日 2013年10月 4日 2013年11月29日 2014年 1月17日 2014年 3月20日 2014年 3月20日	東京都 東京都 東京都 東京都 東京都 東京都	・東京ステーションコンファレンス ・東京国際フォーラム ・(一社)日本循環器学会事務局※ ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム※ ・東京国際フォーラム
(24)	男女共同参画委員会	: 2013年 6月14日 2013年10月 4日 2014年 1月17日 2014年 3月20日	東京都 東京都 東京都 東京都	・東京ステーションコンファレンス ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
(25)	医療安全委員会	: 2013年10月 4日	東京都	・東京国際フォーラム
(26)	国内交流委員会	: 2014年 3月20日	東京都	・東京国際フォーラム
	・ICD-CRT研修制度協議会	: 2013年 9月21日	熊本県	・テトリア熊本銀染コアビル
	・ICD-CRT研修制度協議会	: 2014年 3月23日	東京都	・東京国際フォーラム
	・ICD-CRT研修制度協議会実務者会議	: 2013年11月28日	埼玉県	・大宮ソニックシティビル
	・ICD-CRT研修制度協議会実務者会議	: 2014年 2月21日	広島県	・広島国際会議場
(27)	事務局あり方検討委員会	: 2013年 6月14日 : 2013年10月 4日 : 2014年 1月17日 : 2014年 3月20日	東京都 東京都 東京都 東京都	・東京ステーションコンファレンス ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム

※医療倫理・医道合同委員会

●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

①研究会・学術講演会の開催事業

1. 日本循環器学会年次学術集会

第78回日本循環器学会学術集会(JCS2014)

会期：2014年3月21日(金)～3月23日(日)

会長：永井 良三(自治医科大学)

会場：東京国際フォーラム，東京商工会議所，JP
タワー(東京都)

メインテーマ：

情報爆発とネットワーク時代の循環病学

Cardiology in the information era: from bench to
community

- (1) 一般演題
(口述，ポスター，Featured Research Session)
- (2) 美甘レクチャー：Eric N. Olson
(UT Southwestern Medical Center, USA)
- (3) 真下記念講演：谷口 維紹
(東京大学生産技術研究所)
- (4) 特別講演
- (5) 会長講演：永井 良三(自治医科大学)
- (6) プレナリーセッション
- (7) シンポジウム
- (8) 会長特別企画
 - ・我が国の地域医療の新展開にむけて
 - ・アジアからのエビデンス
 - ・循環器病ナショナルデータベース
 - ・医療の機能分担と連携
 - ・ゲノム科学の新展開
 - ・公正な臨床研究の進め方
 - ・東大醫學—蘭方医学からドイツ近代医学へ
- (9) ジョイントシンポジウム(AHA, ACC, ESC)
- (10) ラウンドテーブルディスカッション
- (11) トピック
- (12) コントロバリー
- (13) ミート・ザ・エキスパート
- (14) モーニングレクチャー
- (15) Late Breaking Clinical Trials
- (16) Late Breaking Cohort Studies
- (17) 第42回循環器教育セッション
- (18) 日本心臓財団佐藤賞記念講演
- (19) 審査講演会
 - YIA Clinical research部門審査講演
 - YIA Basic research部門審査講演
 - 国際留学生YIA 審査講演
 - 第4回コメディカル賞審査講演会
- (20) ガイドラインに学ぶ
- (21) ガイドライン解説
- (22) 第10回心臓移植セミナー
- (23) 保険医療セミナー
- (24) 第4回海外留学生セミナー
- (25) 第13回医療安全・医療倫理に関する講演会
- (26) COIをマネージメントする

(27) 第13回禁煙推進セミナー

(28) 日本循環器学会蘇生科学シンポジウム

(29) 第4回男女共同参画委員会セッション

(30) Circulation Journal Award Session

(31) チーム医療セッション

市民公開講座

・心臓病とともに生きる

・第12回禁煙推進・心肺蘇生法合同市民公開
講座

(33) サテライトセミナー(ランチョンセミナー，フ
ァイアサイドセミナー)：会期中3日間

(34) 機器・書籍展示

2. プレレジストレーション

国内の参加者向けに，参加登録，教育セッション，
ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナーのプ
レレジストレーションをオンライン上で行った。

3. 印刷物・製作物

第78回学術集会関連の印刷物・制作物として，抄録
CD，プログラム集，電子抄録アプリ，教育セッシ
ョンテキスト(循環器専門医Vol.21 Supplement
2014)，企業展示ガイドブック，ピンバッジ，英文
パンフレット

4. My Abstracts

抄録CDに掲載されている演題・チーム医療セッシ
ョン・共催セミナー抄録を検索し，必要な演題の抄
録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表が作成
できるサービスをWEB上で行った。

5. トラベルグラント

海外からの演題採択者への補助として筆頭著者にト
ラベルグラントを支給した。支給金額は中国，香港，
台湾，韓国は5万円，その他の国は10万円とした。

6. 発表データプレエントリー

学術集会発表スライドを会期前にWEBサイトで事
前アップロードするための「発表データプレエント
リーシステム」を公開した。

7. 託児室

学術集会会期中に参加者に対して託児室を設置し
た。英語対応も可能とした。

8. 各種サービス

参加者サービスとして，次のとおり実施した。

・丸の内エリアのレストランで参加証を見せると割
引が受けられるサービス。

・会場内で使用できる無料無線LANサービス。

9. 特別展示『東大醫學—蘭方医学からドイツ近代医学へ』

JPタワー 2階で、東京大学総合研究博物館の特別展示「東大醫學—蘭方医学から近代ドイツ医学へ」が開催された。東京大学が収集してきた幕末から明治にかけての貴重な医学資料を展示した。

10. 学会賞

第39回日本心臓財団佐藤賞

選考委員長

永井 良三(自治医科大学)

受賞者

清水 達也(東京女子医科大学先端生命医科学研究所)

細胞シート工学による立体組織構築法の確立と心筋再生への応用

第31回YIA

Clinical research部門

選考委員長

小川 久雄(熊本大学循環器内科学)

受賞者

最優秀賞：

神崎 万智子(大阪大学循環器内科学)

Morphometric and Quantitative Analysis in Cardiomyocyte's Nucleus were Associated with Poor Outcome in Patients with Idiopathic Dilated Cardiomyopathy

優秀賞：

伊豆丸 堅祐(九州大学病態機能内科学)

Association Between Non-High-Density Lipoprotein Cholesterol and Pathological Changes in Coronary Arteries Among Population-Based Autopsy Samples in Japan: The Hisayama Study

優秀賞：

片岡 雅晴(杏林大学内科学(Ⅱ))

Impact of Interventional Therapies for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension: Comparison of Clinical Outcomes of Pulmonary Endarterectomy vs. Percutaneous Transluminal Pulmonary Angioplasty

優秀賞：

鈴木 弘之(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター)

Utility of Non-Invasive Endothelial Function Test for Prediction of Deep Vein Thrombosis After Total Hip or Knee Arthroplasty

Basic research部門

選考委員長

小川 久雄(熊本大学循環器内科学)

受賞者

最優秀賞：

関 庚徳(国立循環器病研究センター臨床研究部・細胞生物学部)

The E3 ligase Asb2 Regulates Cardiac Development Through Targeting Smad9 for Proteasomal Degradation

優秀賞：

魚崎 英毅(ジョンズ・ホプキンス大学循環器内科)

Identification of Chemicals Inducing Cardiomyocyte Proliferation in Developmental Stage-Specific Manner with Pluripotent Stem Cells

優秀賞：

田中 敦史(慶應義塾大学循環器内科)

Endothelin-1 Induces Contraction Variability in Hypertrophic Cardiomyopathy-iPS Cell-derived Cardiomyocytes

優秀賞：

東邦 康智(東京大学循環器内科)

NLRP3 Inflammasome Activation Through the Heart-Brain Interaction Contributes to Adaptive Cardiac Hypertrophy in Response to Pressure Overload

第12回国際留学生Young Investigator's Award

選考委員長

室原 豊明(名古屋大学循環器内科学)

候補者

最優秀賞：

Nergui Suvd(東北大学循環器内科学)

Molecular and Cellular Mechanism of Right Ventricular Remodeling in Pulmonary Hypertension

優秀賞：

Maharani Nani(鳥取大学再生医療)

Uric Acid Enhanced Kv1.5 Channel Expression in Atrial Myocytes Via Activation of Uric Acid Transporters, Xanthine Oxidase-Dependent Oxidative Stress, ERK Pathway

優秀賞：

Pang Zhengda(大阪大学老年腎臓内科学)

Therapeutic Vaccine Against DPP4 Improves Glucose Metabolism in Mice

優秀賞：

Somasundaram Arumugam(新潟薬科大学臨床薬理学)

Depletion of Cardiac I4-3-beta Protein Adversely Influences Pathologic Cardiac Remodeling Via Exacerbation of Inflammation, Endoplasmic Reticulum Stress, and Suppression of Regeneration

After Coronary Artery Ligatin in Mice
優秀賞：
呉 宏憲(名古屋大学循環器内科学講座)
Renin Inhibition Reduces Atherosclerotic
Plaque Neovascularization and Stabilizes
Established Atherosclerotic Plaques
第22回CPIS賞
選考委員長
青沼 和隆(筑波大学循環器内科)
受賞者
南 丈也(京都大学内分泌代謝内科)
Reciprocal Expression of MRTF-A and
Myocardin is Crucial for Pathological
Vascular Remodelling in Mice
第9回心臓血管外科賞
選考委員長
浅井 徹(滋賀医科大学心臓血管外科)
受賞者
川村 匡(大阪大学心臓血管外科)
Enhanced Survival of Transplanted Human
iPS Cell-Derived Cardiomyocytes by the
Combination of Cell-Sheets with the Pedicled
Omental Flap Technique in a Porcine Heart
第9回小児循環器賞
選考委員長
市田 蒔子(富山大学小児科)
受賞者
松久 弘典(兵庫県立こども病院心臓血管外科)
Ventricular Septal Dysfunction After
Surgical Closure of Multiple Ventricular
Septal Defectas
第8回循環器再生医科学賞
選考委員長
福田 恵一(慶應義塾大学循環器内科)
受賞者
該当者なし
第7回女性研究者奨励賞
選考委員長
筒井 裕之(北海道大学循環病態内科学)
受賞者
吉田 陽子(千葉大学循環器内科学)
Semaphorin3E-Induced Inflammation
Contributes to Insulin Resistance in Dietary
Obesity
第3回循環器臨床研究奨励賞
選考委員長
下川 宏明(東北大学循環器内科学)
受賞者
・臨床研究部門
渡部 裕(新潟大学循環器内科)
不整脈症候群の原因遺伝子や機序の解明と新た
な治療法の開発

・症例報告部門
最優秀賞：
山崎 浩(筑波大学循環器内科)
Ischemic Esophageal Ulceration That
Developed After an Early Endoscopic
Surveillance in a Patient Receiving Catheter
Ablation for Atrial Fibrillation
優秀賞：
涌井 広道(横浜市立大学循環器・腎臓内科)
Endovascular Treatment of Renal Artery
Stenosis Improves Contralateral Renal
Hypertrophy with Nephrotic Syndrome
優秀賞：
佐地 真育(ヴァージニア大学)
Autopsy Finding of the Sapien XT Valve
from a Patient Who Died Suddenly after
Transcatheter Aortic Valve Replacement
第1回循環器イメージング賞
選考委員長
玉木 長良(北海道大学核医学分野)
受賞者
最優秀賞：
北川 知郎(広島大学循環器内科学)
Integrin-Targeted Molecular Imaging of
Experimental Abdominal Aortic Aneurysms
by 18F-FPPRGD2 Positron Tomography
優秀賞：
米山 喜平(聖マリアンナ医科大学循環器内科)
Age,Sex,and Hypertension-Related
Remodeling Influences Left Ventricular
Torsion Assessed by Tagged Cardiac
Magnetic Resonance in Asymptomatic
Individuals: The Multi-Ethnic Study of
Atherosclerosis
優秀賞：
上原 雅恵(千葉大学附属病院循環器内科 / 東
京大学附属病院循環器内科)
Diagnostic Accuracy of 320-Slice Computed-
Tomography for Detection of Significant
Coronary Artery Stenosis in Patients with
Various Heart Rates and Heart Rhythms
Compared with Conventional Coronary-
Angiography
第4回コメディカル賞
選考委員長
伊藤 浩(岡山大学循環器内科学)
受賞者
・臨床部門
最優秀賞：
宮田 栄里子(社会保険 紀南病院 ICU)
超高齢社会を背景とした心臓血管外科術後の
誤嚥性肺炎に対する危険因子解析：ICUにお

ける摂食・嚥下介入アルゴリズム構築の試み
優秀賞：
安藤 可織(独立行政法人国立病院機構岡山医療
センター リハビリテーション科)
レジスタンストレーニングが肺高血圧症患者
の肺循環動態に及ぼす影響
優秀賞：
高田 裕美(慶応義塾大学 循環器内科)
肺高血圧症患者において女性の重症患者は皮
膚症状の存在がQOL低下をもたらす
・チーム医療システム部門
最優秀賞：
長谷川 恵美子(聖学院大学 人間福祉学部)
TypeD傾向が心臓血管疾患患者の抑うつ状
態に与える影響
優秀賞：
藤原 智亜紀(獨協医科大学 日光医療センタ
ー看護部)
多職種全員が利用できる教育ツール「書き込
み式心管リハビリオリジナルガイドブック」
の作成とその利用効果についての検討
優秀賞：
水野 奈津己(新東京病院)
当院におけるDoor-to-balloon-timeの考察－問
題点の検索と対策の検討－
・検査部門
最優秀賞：
村澤 孝秀(東京大学 医療機器管理部)
一回心拍出量を持続モニタリングは心タンポ
ナーデを早期に発見する
優秀賞：
木村 紀子(みなみ野ハートクリニック)
心筋内脂肪沈着の性差による特徴
優秀賞：
白樫 貴宏(大阪府済生会中津病院 臨床工学
技術科)
5フレンチガイディングカテーテルによる光
干渉断層映像法施行の可能性
・治療部門
最優秀賞：
望月 純二(みなみ野ハートクリニック 放射
線科)
肥満とメタボリック症候群で脂肪の質は違
うのか？～CTでの比較検討～
優秀賞：
加藤 京一(昭和大学 保健医療学研究科)
放射線被ばくに関するガイドラインを導入し
たチーム医療における診療放射線技師の新た
な取り組みとその成果
優秀賞：
齋藤 央(神奈川県立循環器呼吸器病センター
検査科)
Heart failure with preserved left ventricular

ejection fraction (HFPEF)患者における遅延
造影MRIの予後予測に関する有用性の検討

Circulation Journal Awards for Volume 77, 2013

選考委員長

下川 宏明(東北大学循環器内科学)

受賞者

Clinical Investigation部門

・最優秀賞

石川 泰輔(長崎大学分子生理学)

Novel SCN3B Mutation Associated With
Brugada Syndrome Affects Intracellular
Trafficking and Function of Nav1.5 (Circ J
2013; 77: 959-967)

・優秀賞

佐藤 公雄(東北大学循環器内科学)

Plasma Cyclophilin A Is a Novel Biomarker
for Coronary Artery Disease (Circ J 2013;
77: 447-455)

Experimental Investigation部門

・最優秀賞

鎌倉 令(京都大学循環器内科学)

Ultrastructural Maturation of Human-
Induced Pluripotent Stem Cell-Derived
Cardiomyocytes in a Long-Term Culture
(Circ J 2013; 77: 1307-1314)

・優秀賞

首藤 恭広(大阪大学心臓血管外科)

Myocardial Layer-Specific Effect of Myoblast
Cell-Sheet Implantation Evaluated by Tissue
Strain Imaging (Circ J 2013; 77: 1063-1072)

Best Reviewers of the Year 2013

塚本 蔵(大阪大学分子心臓血管医学)

浅沼 博司(京都府立医科大学先進循環器病治
療学)

真田 昌爾(大阪大学循環器内科学)

関 康徳(国立循環器病研究センター臨床研
究部・心臓血管内科)

山本 一博(鳥取大学病態情報内科学)

高橋 尚彦(大分大学臨床検査・診断学)

庭野 慎一(北里大学循環器内科学)

丸山 徹(九州大学健康科学センター)

藤木 明(静岡赤十字病院循環器科)

森田 啓行(東京大学循環器内科)

絹川弘一郎(東京大学重症心不全治療開発講座)

甲斐 久史(久留米大学心臓・血管内科)

佐藤 公雄(東北大学循環器内科学)

鈴木 亨(東京大学ユビキタス予防医学)

寿田 浩(福井大学循環器内科学)

田口 功(獨協医科大学心臓・血管内科)

古川 哲史(東京医科歯科大学生体情報薬理)

上松 正朗(関西労災病院循環器内科)

小谷 順一(大阪大学循環器内科学)

石原 正治(国立循環器病研究センター心臓内科)

日本心臓財団・日本循環器学会2013年「心臓」賞
選考委員長 山口 徹(虎の門病院)

・最優秀賞

藤原 雄太(神戸市立医療センター中央市民病院
糖尿病内分泌内科)

アミオダロン服用中の甲状腺機能に関する検討
(心臓 2013; 45: 1101-1109)

・優秀賞

寺口 郁子(和歌山県立医科大学循環器内科)

腫瘍崩壊症候群による高カリウム血症により心肺
停止にいたった多発性内分泌腫瘍2A関連巨大褐色
細胞腫の1例(心臓 2013; 45: 163-168)

・優秀賞

密岡 幹夫(仙台厚生病院心臓血管センター)

急性大動脈解離における予後予測因子としての腎
機能(心臓 2013; 45: 663-669)

II. 日本循環器学会地方学術集会

第109回北海道地方会

会期：2013年6月22日(土)

会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会長：東 信良(旭川医科大学 循環・呼吸・腫瘍病
態外科学分野)

参加人数：268名

発表演題：35題

第110回北海道地方会

会期：2013年11月23日(土)

会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会長：岡本 洋(国立病院機構北海道医療センタ
ー)

参加人数：未定

発表演題：未定

第156回東北地方会

会期：2013年6月1日(土)

会場：岩手医科大学六十周年記念館(盛岡市)

会長：奥村 謙(弘前大学 循環呼吸腎臓内科学)

参加人数：258名

発表演題：67題

第157回東北地方会

会期：2013年12月7日(土)

会場：仙台国際センター(仙台市)

会長：下川 宏明(東北大学 循環器内科学分野)

参加人数：285名

発表演題：79題

第228回関東甲信越地方会

会期：2013年6月15日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：石光 俊彦(獨協医科大学 循環器内科)

参加人数：957名

発表演題：100題

第229回関東甲信越地方会

会期：2013年9月14日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：西崎 光弘(横浜南共済病院 循環器内科)

参加人数：856名

発表演題：97題

第230回関東甲信越地方会

会期：2013年12月7日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：松本 万夫(埼玉医科大学国際医療センター
心臓内科)

参加人数：966名

発表演題：134題

第231回関東甲信越地方会

会期：2014年2月1日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：山崎 純一(東邦大学医療センター大森病院
循環器内科)

参加人数：922名

発表演題：113題

第141回東海地方会

会期：2013年6月22日(土)

会場：ウインクあいち(愛知県産業労働センター)(愛
知県名古屋)

会長：天野 哲也(愛知医科大学 循環器内科)

参加人数：702名

発表演題：161題

第126回北陸地方会

会期：2013年6月16日(日)

会場：金沢医科大学(石川県河北郡内灘町)

会長：森本 茂人(金沢医科大学 高齢医学)

参加人数：200名

発表演題：42題

第142回東海・第127回北陸合同地方会

会期：2013年11月9日(土)・10日(日)

会場：金沢エクセルホテル東急(金沢市)

会長：芳村 直樹(富山大学 外科学(呼吸・循環・総
合外科)講座)

参加人数：558名

発表演題：206題

第115回近畿地方会

会期：2013年6月15日(土)

会場：国立京都国際会館(京都市)
会長：木村 剛(京都大学 内科学講座)
参加人数：1347名
発表演題：312題

第116回近畿地方会
会期：2013年11月30日(土)
会場：大阪国際交流センター(大阪市)
会長：増山 理(兵庫医科大学内科学循環器内科)
参加人数：1258名
発表演題：297題

第103回中国地方会
会期：2013年10月26日(土)・27日(日)
会場：米子コンベンションセンター<Big Ship>(米子市)
会長：山本 一博(鳥取大学 病態情報内科学)
参加人数：317名
発表演題：141題

第103回四国地方会
会期：2013年12月7日(土)
会場：あわぎんホール(徳島市)
会長：赤池 雅史(徳島大学 医療教育学分野)
参加人数：262名
発表演題：98題

第102回中国・四国合同地方会
会期 2013年5月10日(金), 11日(土)
会場 サンポートホール高松(高松市)
会長 坂東 重信(香川県立白鳥病院 院長)
参加人数：687名
発表演題：226題

第114回九州地方会
会期：2013年6月29日(土)
会場：アクロス福岡(福岡市)
会長：土橋 卓也(独立行政法人国立病院機構九州医療センター 高血圧内科)
参加人数：807名
発表演題：128題

第115回九州地方会
会期：2013年12月7日(土)
会場：佐賀マリトピア(佐賀市)
会長：森田 茂樹(佐賀大学 胸部心臓血管外科)
参加人数：543名
発表演題：128題

②学会学術誌、その他出版物の刊行事業

1. Circulation Journal刊行

- (1) Circ. J. Vol.77 2013年は12冊3,166頁, 平均発行部数約17,120部, 原著投稿論文を含む261件

3,102頁(98%), その他64頁(2%)を掲載.

- (2) 2013年の投稿論文は, 受付1,610件(内有効論文1576件), 内2014年3月6日現在までの採用は239件, 不採用1039件, 採択率は19%であった. 査読にはEditorial Boardを含め1033名(12号掲載)がその任務にあたった.
- (3) 2014年の投稿論文は, 2014年3月6日現在までの受付281件(内有効論文280件)であった.
- (4) 2012年のImpact factorは, 3.578であった.
- (5) Supplement I (抄録CD)は年次学術集会において採択された英文抄録を掲載した.
- (6) AHA開催期間中に, Associate Editor, International Associate Editor, International Advisory Boardのメンバーを招待し, 出席者42名で第4回国際編集会議を開催した.

2. 循環器学用語の検討

循環器学用語の改定について, 会員及び関係学会からの意見を踏まえ検討した. また, WHO・厚生労働省から依頼を受けているICD-11作成作業について委員派遣を行った.

3. 会告刊行

会告2013 No.1~No.6を発行した.

4. 地方会抄録

地方会抄録オンライン検索システム「症例くん」を運営した.

5. 学会ニュースメールの配信

会員向けに学会からのお知らせなどを掲載したニュースメール「JCS News Letter」を配信した.

③学術研究助成事業

1. 循環器疾患診療実態調査

全国の循環器科・心臓血管外科を標榜する2,577施設に調査依頼を行い, Webを用いて調査を行った. 調査対象期間は2012年1月~12月の1年間で, 循環器研修施設および循環器関連施設から100%の回答を得ることができた.

2. 学術研究班

- (1) 先天性心疾患、心臓大血管の構造的疾患 (Structural heart disease) に対するカテーテル治療のガイドライン
(班長：中西 敏雄)
- (2) 災害時循環器疾患の予防・管理に関するガイドライン
(日本循環器学会・日本高血圧学会・日本心臓病学会との3学会合同作成)
(班長：下川 宏明, 菊尾 七臣, 代田 浩之)
- (3) 循環器病薬の血中濃度モニタリングに関するガイドライン
(日本循環器学会・日本TDM学会との2学会合同)

作成)

(班長：青沼 和隆, 志賀 剛)

- (4) 慢性肺動脈血栓塞栓症に対するballoon pulmonary angioplastyの適応と実施法に関するステートメント

(班長：伊藤 浩)

- (5) 非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン(改訂版)

(班長：許 俊鋭)

- (6) 脳血管障害, 腎機能障害, 末梢血管障害を併発した心疾患の管理に関するガイドライン(改訂版)

(班長：伊藤 貞嘉)

3. ガイドライン作成

2011-2012年度活動の新規2班と2012年度活動の改訂版5班のガイドラインについて, オリジナル版とダイジェスト版を作成し, 『循環器病の診断と治療に関するガイドライン2013』としてホームページ上に公開した。また, 第78回学術集会時に「ガイドライン解説」および「ガイドラインに学ぶ」セッションを開催した。

4. ガイドラインダイジェスト版の英訳化

既存のガイドラインのうち次の2班を英訳化してホームページに掲載した。

- (1) 心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン
- (2) 小児期心疾患における薬物療法ガイドライン

5. ガイドラインダイジェスト版ポケット版の作成

臨床現場での利便性を考慮し, ガイドラインダイジェスト版のポケットサイズ版を作成して第78回学術集会の期間中にセッション会場や日本循環器学会ブースで無料配布した。

6. Translational Research振興事業

臨床応用・実用化にある最先端の基礎的研究やTranslational researchについて, 我が国の先進医学研究に寄与することを目的に, 以下2件の研究支援助成を行った。2011年度に採択した2件および2012年度に採択した2件についても研究支援助成を行った。

- (1) 平田 健一(神戸大学 循環器内科学分野)
腸管免疫と腸内細菌叢への治療介入を行う新規動脈硬化予防法の開発研究
- (2) 樂木 宏実(大阪大学 老年・腎臓内科学)
新規ペプチドを用いた重症下肢虚血に伴う難治性皮膚潰瘍治療薬の開発

7. 大規模臨床試験の後援

以下の医師主導型臨床試験を支援した。

- (1) 周産期心筋症(産褥心筋症)の発症に関する登録

研究

(PREACHER: 主査 池田 智明)

- (2) 心筋梗塞患者に対するエポエチンベータ投与による心機能改善効果に関する研究-II

(EPO-AMI-II: 主査 小室 一成)

- (3) 急性心筋梗塞に対する治療の現状とその効果の実態調査

(J-MINUET: 主査 石原 正治)

8. 心原性ショックに関するレジストリ

蘇生科学小委員会が主導して行う心原性ショックに関するレジストリは, 2012年5月から本登録を開始した。

9. 留学支援助成

学術集会の発展・医学研究の振興を願って, 海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に以下1件の留学支援助成を行った。

心不全におけるPDE5, PDE9の協調作用及びナトリウム利尿ペプチド系との関連
橋本 亨(九州大学 循環器内科学)

10. 国内交流事業

・日本呼吸器学会における, 日本循環器学会とのジョイントシンポジウム開催申請を受諾した。

④国際交流事業

1. 国際交流事業

- (1) 海外学会へのブース出展ESC・AHAへブース出展を行った。
- (2) 第78回学術集会開催時にESCと共同シンポジウム(Meet the ESC)を開催した。
- (3) 3名の新規国際名誉会員の選定を行った。

●循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

①循環器専門医事業

1. 循環器専門医事業

- (1) 循環器専門医認定のための第24回循環器専門医試験を2013年8月25日,東京国際フォーラム(東京),梅田スカイビル(大阪)の2会場で実施した。認定者は384名(2014年4月1日認定)。
- (2) 2014年4月1日に循環器専門医資格を更新予定の循環器専門医2,181名の認定更新(2014年4月1日更新)が承認された。(2014年6月5日現在)
- (3) 循環器専門医・専門医を目指す会員の臨床研修のための研修施設・研修関連施設の指定および指定更新審査を行った。新たに研修31施設, 研修関連45施設を指定し, 更新は研修577施設, 研修関連136施設を指定した。
- (4) 『循環器専門医』刊行: 専門医編集委員会から

Vol.21 No.2, Vol.22 No.1を出版した。Vol.21No.2は特集「第77回日本循環器学会学術集会」、Vol.22 No.1は特集Ⅰ「基礎科学の進歩」特集Ⅱ「第77回日本循環器学会学術集会」

②循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. 第9回循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナーの企画・開催

2013年7月7日(日)大手町サンケイプラザにて、主に研修医を対象に、循環器学の面白さをレクチャー、ディベート、グループ討論などを通じて伝えるセミナーを開催した。

2. 教育研修用DVDの製作・販売

学会員の知識、技能の向上をはかることにより、国民の健康に寄与することを目的として「第41回循環器教育セッションDVD-ROM」の製作・販売を行った。

3. 教育研修用e-ラーニングシステムの構築

学会員の知識、技能の向上をはかることにより、国民の健康に寄与することを目的として教育研修e-ラーニングシステムを構築し、コンテンツの収録を行った。

4. 心肺蘇生法普及活動

次の各講習会を全国で開催した。

- (1) AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース
- (2) AHA ACLSプロバイダーコース
- (3) AHAハートセイバーAEDコース

受講者募集活性化のため、BLS受講対象者を原則として医療に従事している方、医学教育に係わっている方、医歯薬学生、看護学生などに拡大した。また、インストラクター養成のため次の各講習会を開催した。

- (1) AHA コアインストラクターコース
- (2) AHA BLSインストラクターコース
- (3) AHA ACLSインストラクターコース

5. コメディカルセミナーの開催

循環器系コメディカルスタッフへの教育・啓発を目的として、第5回・第6回のコメディカルセミナーを開催した。

- (1) 第5回コメディカルセミナー
日時：2013年8月17日(土)10:00-17:30
会場：東京コンファレンスセンター・品川(港区)
テーマ：「明日から役に立つ循環器疾患の知識をあなたに」

あなたに」

- (2) 第6回コメディカルセミナー

日時：2013年8月24日(土)10:00-17:00

会場：大阪YMCA国際文化センター(大阪市)

テーマ：「明日から役に立つ循環器疾患の知識をあなたに」

6. 男女共同参画に関する事業

- (1) 第3回男女共同参画委員会セミナー「女性循環器医の勤務環境改善を目指して」を2013年5月10日に中国・四国合同地方会(サンポートホール高松)で開催した。
- (2) 第4回男女共同参画委員会セミナー「真の男女共同参画をめざして今なにが必要か?—職場環境の鏡—」を2013年11月23日に北海道地方会(北海道大学学術交流会館)で開催した。
- (3) 女性循環器医の勤務環境改善のためのワーキンググループを立ち上げ、昨年度に続き現状把握と提言を行うため取り組んだ。
- (4) 学術集会一般演題における女性座長について、第78回では10.81%となった。

●循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

①心臓移植等にかかる事業

1. 心臓移植等に関する事業

- (1) 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出した。
- (2) 心臓移植の適応について、新規申請、再申請の検討を行った。
- (3) 心臓移植実施施設が互いの問題点等について協議できる場として、心臓移植実施施設小委員会を立ち上げた。
- (4) 補助人工心臓(非拍動流型)植込症例について、適正に行われているかを検証する手順等を協議し、システムの導入を行った。また、検証する組織として、事後検証小委員会を設置した。
- (5) 学術集会会期中に医師及びコメディカル向けに移植医療の現状報告、補助人工心臓の使用と現況について心臓移植セミナーを行った。
- (6) 心臓移植に関連する各学会・研究会とともに、小児心臓移植実施施設の審査を行い、移植関係学会合同委員会へ推薦した。

②社会への広報・啓発事業

1. プレスセミナーの開催

一般市民への啓発を目的として、プレスを対象としたセミナーを開催した。セミナーのテーマは「成人先天性心疾患」を取り上げた。

2. 学術集会プレスカンファレンス

第78回学術集会の企画内容をプレス向けに説明する

会合として、東京でプレスカンファレンスを開催した。

3. 禁煙ガイドブックの販売

禁煙指導のための教材として使用する「禁煙ガイド Passport to Stop Smoking」の販売をおこなった。

4. 禁煙推進・心肺蘇生法合同市民公開講座

第78回学術集会期間中に、禁煙推進・心肺蘇生法に関する合同の市民公開講座を開催した。

5. 心肺蘇生法に関する事業

ファミリー&フレンズコース(市民向け講習会)を計8回開催した。

6. 学会ホームページの運営

学会員・一般市民に役立つ情報を学会ホームページに掲載した。

7. 診療報酬に関する調査

循環器分野における診療報酬の実態を調査するため、主にDPCの実態及び診療報酬改定後の影響について調査を行い、必要な要望等を関係各所に行った。

8. 医療安全に関する事業

委員会内規内の委員会業務内容に沿って、医師推薦依頼に対応した。

●その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 準会員制度運用に向けた準備

2014年度から準会員制度の運用を開始するため、運用に向けプログラム構築や募集アナウンスを行った。

2. 利益相反委員会

「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」の運用を行った。

3. 事務局あり方検討委員会

本学会事務局の東京への全面移転が完了した。京都事務所は閉鎖し、2013年7月16日より東京事務所にて全ての業務を行っている。東京事務局の会議室は、学会業務に引き続き有効活用されている。

事務局の業務改善が進展し、関連する諸規程の整備も進めた。

4. 医道委員会

本学会が関与する裁判について対応した。また、不正論文などの問題への対応を検討した。

Circulation Journal Vol. 77刊行状況(編集委員会)

	論文数	頁数	その他頁数	頁数計
No. 1	30	276	0	276
2	30	326	0	326
3	30	280	0	280
4	30	254	0	254
5	30	263	1	264
6	30	294	0	294
7	29	276	0	276
8	31	286	0	286
9	25	210	0	210
10	25	221	1	222
11	25	211	1	212
12	25	205	61	266
計	340	3102	61	3166

『第78回学術集会抄録CD (Vol.78 Supplement I)』刊行状況(学術集会)

	一般演題採択数	抄録掲載数
計	2331	2876

『循環器専門医』刊行状況(専門医制度委員会)

	本文頁数	専門医News頁数	頁数計
Vol. 21 No.2	193	13	206
Vol. 22 No.1	157	17	174
計	350	30	380

『循環器病の診断と治療に関するガイドライン2013』刊行状況(学術委員会)

	オリジナル版頁数	ダイジェスト版頁数	頁数計
2011-2012年度報告	154	33	187
計	154	33	187